



平成 25 年 4 月 2 日

各 位

会 社 名	デ ィ ナ ベ ッ ク 株 式 会 社
代 表 者 氏 名	代 表 取 締 役 社 長 長 谷 川 護
本 社 所 在 地	茨 城 県 つ く ば 市 大 久 保 6 番
問 合 せ 先	取 締 役 管 理 部 長 谷 田 洋 平
電 話 番 号	029-877-5155 (代 表)

センダイウイルスベクターによる新しいエイズワクチン臨床試験開始のお知らせ

ディナベック株式会社（本社：茨城県つくば市、代表取締役社長：長谷川 護、以下「当社」という）は、国際エイズワクチン推進構想（International AIDS Vaccine Initiative : IAVI（イアヴィ）※¹、本部ニューヨーク市）と共同で開発したエイズワクチン候補※²が第Ⅰ相の臨床試験に入りましたのでお知らせいたします。この臨床試験はセンダイウイルスベクターを使った新しいワクチン候補の安全性と副作用の有無、さらにエイズウイルス（HIV）に対する免疫誘導能を調べることを目的としています。臨床試験は英国および東アフリカ地域の計三か所で実施されます。このセンダイウイルスベクターを用いるエイズワクチンは、日本において当社、国立感染症研究所（感染研）、東京大学医科学研究所（東大医科研）が共同研究の成果としてきたものです。

臨床試験はアフリカ・ルワンダのケガリ市にある、米国エモリー大学の HIV 予防研究所であるプロジェ・サンフランシスコで開始されました。続いて、ロンドンのチェルシー・アンド・ウエストミンスター病院に属するセント・スティーブン・センター、ならびに認可が下り次第、東アフリカ地域の研究所でも開始される予定です。

今回試験される新しいエイズワクチン候補は、当社と永井美之博士（当時東大医科研教授）が共同で開発したセンダイウイルスベクター技術を利用し、HIV の gag 蛋白遺伝子を抗原とする、SeV-G と呼ばれるワクチンです。今回の試験では、単独投与とワクチンの組合せ効果それぞれを調べるために Ad35-GRIN とよばれる別のワクチン候補との併用投与が試みられます。IAVI などによって開発された Ad35-GRIN の安全性と評価する投与量はすでに臨床試験で実証されています。

これまで当社と俣野哲朗博士（感染研エイズ研究センター長・東大医科研教授）の研究グループは共同で、センダイウイルスベクター・ワクチンの経鼻接種により、サルを SIV（エイズに似た症状をサルに引き起こす免疫不全ウイルス）から予防できることを証明しており、その効果を高めるための研究を続けています。

今回の臨床試験では、センダイウイルスベクターのワクチンが鼻腔に投与された時、体腔を覆う粘膜組織において HIV 抗原に対する免疫反応を誘発するかどうか調べます。HIV は粘膜から感染することが分かっています。センダイウイルスは動物実験において粘膜局所で免疫反応を起こすことが明らかになっていますので、研究者はセンダイウイルスベクターを用いたこのワクチンが、HIV 感染防御により効果的ではないかと期待しています。

※ 1 : 国際エイズワクチン推進構想 (IAVI) について

国際エイズワクチン推進構想 (IAVI) は安全かつ有効で使い勝手の良い HIV 予防ワクチンを世界中に普及させることを目指して活動している国際的な非営利団体です。1996 年に設立された IAVI は 25 カ国のパートナーとともにエイズワクチン候補の研究開発を展開し、エイズワクチンに関する政策分析やアドボカシー活動（公共衛生や人権支援のための社会的活動）を行っています。IAVI の活動は各国政府と、民間企業や財団、個人の善意に基づく寄付と支援によって支えられています。

※ 2 : HIV/エイズの現状

エイズの世界的流行が始まってからこれまでに 6 千万人が HIV に感染し、3 千 2 百万人ほどの人が死亡しています。今でも、毎年約 250 万人の新規感染が発生し、3 人が治療を開始する間に新たに 5 人が感染しています。抗ウイルス剤の治療・予防のための投与や自発的な成人男性の割礼など、最近の新しい感染予防ツールや方策においてめざましい開発が進んでいることは、エイズの感染拡大のスピードを大いに緩める可能性を期待させます。しかし、研究者の間では「ゼロの新感染」を達成するためにはエイズの予防ワクチンが不可欠であると認識されています。